



日仏友好160年「ジャポニスム2018」で高まる日本の地域、自治体の存在感!!

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 元所長補佐 加藤 信行 (岩手県派遣)

日仏友好160年! 「ジャポニスム2018」

日仏友好160年にあたる2018年7月から2019年2月にかけて、フランスで大型の日本文化イベント「ジャポニスム2018」が開催されました。

日本の自治体からは、20人を超える知事・市長などが来仏、また、62もの地方自治体がパリをはじめフランス各地で公式企画や参加企画など35の事業*に参加し、それぞれの地方の多彩な魅力を披露しました。

(※クレアパリ事務所調べ)

「地方の魅力ー祭りと文化」

取り組みの成果としては、何より、日本の多様で特色ある地方文化をフランスで発信し、高い評価を得られたことです。10月17日から27日まで、「ジャポニスム2018」公式企画として、国際交流基金、JNTO、クレアと12の地方自治体による「地方の魅力ー祭りと文化」が開催されました。



高さ12メートル、大迫力の立佞武多

パリ日本文化会館において、岐阜の地歌舞伎（岐阜県）や木曾踊り（木曾町）、淡路人形浄瑠璃（兵庫県）など

の民俗芸能公演、凧作り（新潟市）や漫画（岩手県・鳥取県）などの実演・ワークショップ、講演など15の催しが行われたほか、週末となる20日、21日には、パリ市民憩いの場所、アクリマタシオン庭園において、五所ごしょがわらたちねぶたがわらたちねぶた川原立佞武多（青森県五所川原市）、行徳神輿（市川市）、ぎょうとくみこし鬼剣舞・さんさ踊り（岩手県）、よさこい（高知県）、春日若宮おん祭（奈良県・奈良市）、阿波おどり（徳島県）、信玄公祭り（山梨県）の各地の7つの祭りが披露されました。見学のフランス人も一緒に祭りに参加するなど、天気にも恵まれ盛況な「祭り」となりました。終了後には「毎年やってほしい」、「次はいつやるのか」といった声が、多数寄せられました。



フランス人も多く参加した「さんさ踊り」の様子

また、同庭園内には、各地の「B級グルメ」を紹介する屋台や、沖縄県、岡山市等の観光ブースが設置され、多くのフランス人が日本の地方の魅力を堪能しました。アクリマタシオン庭園には、10月20日から22日の3日間で計6万人の来場がありました。

他にも、奈良県の仏像展「古都奈良の祈り」では、日本の深い精神性を表現していると高く評価されました。また、国内で主に活動していた岐阜県の地歌舞伎が、フ

ランスで評価されたことでより誇りを持ち、世界に視野を広げることになったとともに、将来の活動の糧にもなったそうです。

第6回「伝統と先端と」展

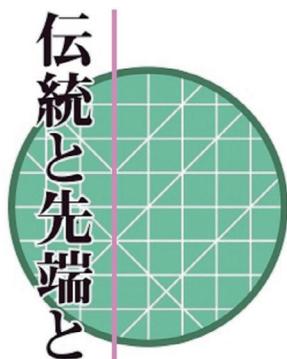


職人の技と素材の美しさが際立つ各地の伝統工芸品（同展より）

また、産業振興の観点でも、現代ニーズに合わせた伝統工芸品を展示し、ワークショップなどを行う、国際交流基金・クレア共催で行われた今回の第6回「伝統と先端とー日本の地方の底力」展には、ジャポニスム事業では最大となる15の日本の自治体が参加しました。

2月6日から24日までの会期中、パリ会場のパリ日本文化会館には10日間で約1万5,000人の来場があり、約2,500人が企画イベントに参加したほか、仏西部ナント会場のコスモポリスには6日間で3,300人以上の来場、企画イベントには約1,500人の参加がありました。

参加した自治体関係者や職人からは、「商品の評価に自信を得た」といった声や来場者からは「展示品を購入したい」という声も寄せられ、販売実績も大きく上がり、テストマーケティングとしても大きな成果がありました。



SYNERGIES ENTRE
TRADITION ET
MODERNITÉ
l'artisanat local japonais
à la pointe de l'innovation



パリ会場（パリ日本文化会館）の様子

【参加自治体】

1. 展示・販売（パリ・ナント）（15自治体）

- ①青森県、②岩手県、③鶴岡市（山形県）、④富岡市（群馬県）、⑤新潟市（新潟県）、⑥富山県、⑦高岡市（富山県）、⑧福井市（福井県）、⑨富士吉田市（山梨県）、⑩岐阜県、⑪大阪府、⑫奈良県、⑬真庭市（岡山県）、⑭香川県、⑮熊本市（熊本県）

※○数字の団体は販売も実施

2. 企画イベント（パリ）（8自治体）

- 青森県、岩手県、富岡市（群馬県）、新潟市（新潟県）、富山県、高岡市（富山県）、富士吉田市（山梨県）、岐阜県

3. 企画イベント（ナント）（4自治体）

- 青森県、富岡市（群馬県）、新潟市（新潟県）、富山県

【主な企画イベント】※一部

青森県	ブナコのボウル、こぎん刺しクルミボタン製作体験等
岩手県	染め物体験、カンナがけ体験（筆筒づくり）等
富岡市	映画「紅い櫻」の上映等
新潟市	おにぎり作りワークショップ等
富山県	伝統工芸をテーマとする映画「デンサン」の上映、監督トーク等
高岡市	「国宝仏の再現に挑む」、「高岡の伝統工芸」上映等
富士吉田市	パリ・オペラ座バレエダンサー衣装展示等
岐阜県	美濃和紙の製造工程の上映、原紙の展示、製作体験等



職人の話に耳を傾ける来場者（南部鉄器で沸かしたお湯の飲み比べ体験、パリ会場）

フランスからの高い評価

ジャポニスム 2018 を通じて、日本の地方の多彩な魅力が発信されるとともに、現代のニーズに合わせて工夫された製品、日本酒や地方の食材は、販売もされ、フランスの方々からの高い評価を得て、地域の持続可能性を見出す機会ともなりました。

2月にパリで開催されたジャポニスム 2018 の締めくくりとなる日仏両政府の合同委員会には、クレア理事長が出席し、地方の参加の重要性を改めて強調するとともに、仏政府からもジャポニスム 2018 には、日本の地方自治体の参加が大変重要であったと評価されました。2021年にはフランスが日本全国でフランス文化発信事業を展開したいということも同委員会で示されました。今後は、単年度のイベントで終わらせるのではなく、次年度以降につながる取り組みが必要になってきます。

ジャポニスム2018における地方自治体の取組

2019年2月
自治体国際化協会

- 参加地方自治体：62 団体 参加企画：36 事業 来仏知事・市長等：24 名*
- 多様で特徴ある日本の地方文化をフランス各地で発信し、高い評価。日仏の多面的な交流を促進。
- 日本の各地方の伝統工芸、食などのプロモーションにも効果。フランスでの評価を土台に欧州・世界への発信につなげる。
- RWC2019、2020年東京オリンピックパラリンピック大会に向けた観光客誘致にも効果。*



- 今後
- フランス国内への継続的な事業展開を通じた地方自治体のPR。
 - 地方の文化・歴史に関する知的交流やフランス市民との交流の実施。
 - 2020年エクサンプロヴァンス会議をはじめ、日仏自治体間交流をさらに発展（姉妹都市交流54組）。

ジャポニスム 2018 における自治体の活動（日仏合同委員会資料）

参加した日本の自治体からは、文化の発信にとどまらず、今年のラグビーワールドカップ日本大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が続く日本

の各地方への観光客の誘致にもつなげることができたとの評価も聞こえてきます。

そのような成果とともに、「フランスの方の反応をより細かく知りたい」、「地域の文化や歴史を考え相互理解を深めるシンポジウムなどの知的取り組みや、自治体の参加者とフランス市民との交流を今後もっと進めたい」との声もありました。

日仏自治体間には、ヨーロッパで最も多い54組の姉妹・友好都市関係があり、今回のジャポニスム 2018 でも、東京都、京都市とパリ市や、金沢市とナンシー市などがこれまでの交流を基に事業を行いました。総じて、ジャポニスム 2018 によって日仏自治体間の多様な交流が促進され、両国の関係が多面的で、さらに豊かなものとなったのではないかと考えています。

昨年熊本市で開催された第6回日仏自治体交流会議では、次回2020年のエクサンプロヴァンス会議が決定するとともに、日仏自治体の政策連携を促す最終宣言が採択されました。ジャポニスム 2018 をはずみとして、日仏自治体交流のさらなる発展が期待されます。

また、2018年にはJETプログラムのメンバーとして26人のフランスの若者が日本の地方でジャポニスム事業を含め日仏の交流、相互理解に活躍しています。日本とフランスの多彩な地方の文化が発信され、日仏の自治体や人々の交流が発展していくよう、クレアパリ事務所では、引き続き日仏の交流促進のため積極的な活動を進めてまいります。

第7回「伝統と先端と」展

今年度の第7回「伝統と先端と」展については、1月21日からの開催を予定しています。7月12日まで出展を募集しております。詳細はホームページをご覧ください。

第7回「伝統と先端とー日本の地方の底力」展概要（予定）

開催日時	2020年1月21日(火)～2月1日(土)
場所	パリ日本文化会館等
概要	伝統産業工芸品の展示・販売（テストマーケティング）

【詳細はこちらから】

<https://www.clairparis.org/ja/news-jp/news-2019-jp/1285-7>